



しもつましょうがっこうがくしゅう 下書小学校学習ガイド

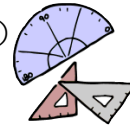


☆このガイドは学習の「心構え」や「きまり」を表したものです。ここにある「心構え」や「きまり」を大切にして、毎日努力すれば、勉強が楽しくなり、分かるようになります。

がくしゅうようぐ 学習用具

1 筆入れの中

- ① 鉛筆 (Bか2B 1~4年 HBかB5・6年) 5~6本 (4Bか6B) 1本 (書き方・図工用)
- ② 色鉛筆 (赤・青) 1本 (1~4年) ボールペン (5・6年)
- ③ 消しゴム (白) 1個 (色やにおいのない物, 消えることが大切)
- ④ 定規 (15センチ程度) 1本



2 机の中

机の中は半分に分けて整理整頓しましょう。(左側は教科書やノート, 右側は道具類です。)

3 その他

したじき (模様のない物), コンパス, 三角定規, 分度器

よかたががた 読み方・書き方

① 正しい姿勢で学習しましょう。

せなかをのばし, 足の裏を床にしっかり着けて腰かけましょう。

② 本はノートの左側に置きます。筆入れは出さないで, 必要な道具だけ出しましょう。

③ 本やノートは, 目から30センチメートル以上離しましょう。

④ (読点) や (句点) に気をつけて, 声はちょうどよい速さと大きさと読みましょう。

⑤ えんぴつは立ちすぎないように, 正しくもってていねいな文字で書きましょう。



① 手のあげ方

指先までまっすぐのばして, 手をあげましょう。

② 指名されたら, すわったままで返事をして最後までしっかり話しましょう。

「はい。〇〇です。」

「はい。わたしは, 〇〇だと思います。」

③ 友達の考えに対して

「はい。わたしは, △△さんの意見と同じです。わけは, ◇◇だからです。」
(ちがいます)

④ だれもが聞き取りやすい声の大きさや速さで話しましょう。



はっぴょうしかた 発表の仕方

はなしきかた 話の聞き方

① 最後まで聞きましょう。

② 自分の考えと同じ点やちがう点を考えながら聞きましょう。

③ 聞き取れなかったら, 「もう一度言ってください。」などとていねいに聞き直しましょう。



国語

言葉や文章を書き、読み取る力を身に付け、伝え合う力を高めます。また、思考力や想像力及び言語感覚を養う態度を育てます。



- 毎日音読をしましょう。声を出して読むと、読解力や表現力が身に付きます。
- 漢字ドリルを使って、正しい筆順で正しいに書きましょう。
- テストの問題をもう一度やってみましょう。
- 分からない言葉は、辞典を使って調べましょう。(3年～6年)
- 読書しましょう。いろいろな文章表現に出会うことができ、心を豊かにします。
- その日の出来事を日記に書いてみましょう。

がくしゅうじかん めやす
学習時間の目安

ぶん がくねん
15分×学年



算数

数量や図形についての基礎的な知識と技能を身に付け、筋道を立てて考える能力を育て、数理的な処理を進んで生活に生かそうとする態度を育てます。

宿題はかならず。

学校から出されたものは必ずやろう。(1～6年)

復習が大切です。

- ・今日、学習したことをもう一度やろう。
- ・ドリルや問題集を繰り返しやろう。
- ・テストで間違えた問題をもう一度解こう。(1～6年)
- ・学習したことを自分なりにまとめてみよう。
- ・学習したことから、問題を作ってみよう。(4～6年)



<お家の方へ>

- ・振り返って考えることが大切です。丸付けや間違い直しを自分でさせましょう。
- ・難しくても、頑張って自分で考えることに価値があります。大きな心で励ま

理科

自然に親しみ、観察、実験などを行い、問題解決の能力と自然を愛する心情を育て、科学的な見方や考え方を養います。

復習を大切に

- 1 大切な言葉をノートに書き出し、自分の言葉で説明できるようにしましょう。
- 2 観察・実験の後は、目的、方法(器具や薬品の使い方)、結果、まとめ方について、ノートに整理してみましょう。

授業を発展させて

- 1 興味がわいたり、疑問に思ったことは、本やインターネット、観察・実験などで進んで調べ、理科学研究作品にまとめてみましょう。
- 2 休日を利用して博物館へ行って実物を見たり、ふれたりしてみましょう。
- 3 1日1回は天気予報を見ましょう。



社会

社会生活について理解し、平等で、平和な国や社会を作るために必要な知識や考え方の基礎を養います。

予習が大切です。

- 1 次の日に勉強する部分の教科書を読んだり、絵や写真を見たりしておきましょう。
- 2 大切だと思ったことをノートに書いておきましょう。
- 3 疑問に思ったことをノートに書いておきましょう。

復習は生活の中で。

- 1 学校で勉強したことを日頃の生活で確かめましょう。
例：スーパーマーケットでの産地調べ
地区の史跡見物 新聞やニュース番組インタビューや手紙で確かめる
- 2 勉強した地名を地図帳で見直しましょう。

